

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月26日

計画の名称	2.京都・奈良・和歌山における自転車を活用した広域観光活性化計画（重点）											
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	奈良県											
計画の目標	多くの歴史・自然観光資源などを有する京都府、奈良県、和歌山県が連携し、観光地などの拠点施設を結ぶ広域自転車道を整備するとともに、これを活用したイベントの実施やサイクリングマップ作成などのPRを行うことにより、府県内外からの誘客を促し、自転車をツールとした観光振興や地域の活性化を図る。 奈良市、斑鳩町及び明日香村においては、興福寺の中金堂や薬師寺の東塔解体修理など観光に向けた活動が取り組まれているところである。これら活動と一体となった広域自転車道を整備することにより観光を振興し、地域の活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	798	A	798	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H30末	H32末
1	・【京都府・奈良県・和歌山県 共通目標】 京都府山城地域、奈良県北西部、和歌山県紀北地域における観光入込客数を3,975万人（H26）から4,371万人（H32）に増加 【京都府・奈良県・和歌山県 共通目標】 観光入込客数を3,975万人(H26)から4,371万人(H32末)に増加（396万人(10%)の増加） （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数） / （H26年間観光客数）	3975万人	4234万人	4371万人
2	・奈良県北西部（奈良市、生駒市、山添村、大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町）における観光入込客数を1,739万人（H26）から1,951万人（H32）に増加 【奈良県 単独目標】 奈良県北西部における観光入込客数を1,739万人(H26)から1,951万人(H32末)に増加（212万人(12.2%)の増加） （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数） / （H26年間観光客数）	1739万人	1880万人	1951万人
3	・重点計画の拠点施設に係る市町村（奈良市、斑鳩町、明日香村）における観光入り込み客数を1578万人（H26）から1771万人（H32）に増加 【奈良県 重点計画目標】 重点計画の拠点施設に係る市町村における観光入り込み客数を1,578万人（H26）から1,771万人(H32末)に増加（193万人(12.2%)の増加） （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数） / （H26年間観光客数）	1578万人	1707万人	1771万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・京都府、和歌山県と連携。・全体事業費に占める効果促進事業（提案事業）割合は、0%となる。・その他事項については、備考-1に記載。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	交通安 全	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(南和工区)	路面標示、看板設置 L=45km	大和高田市ほか						60	-	
	H30年度より重点計画へ新規登録。市区町村名：大和高田市ほかとは、大和高田市、葛城市、御所市、大淀町、五條市。																		
	A11-002	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	新築	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(西九条町工区)	道路新設 L=0.6km	奈良市							0	-
	H29年度より事業実施。H30年度より重点計画へ変更。H31年度より事業休止。																		
	A11-003	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	新築	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(観音寺町工区)	道路新設 L=1.1km	大和郡山市							0	-
	H29年度より事業実施。H30年度より重点計画へ変更。H31年度より通常計画に変更(A11-020)。																		
A11-004	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	新築	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(長安寺町工区)	アンダーパスによる鉄道横断 L=2.0km	大和郡山市							125	-	
H28年度より事業実施。H30年度より重点計画へ変更。																			
A11-005	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	改築	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(中和工区)	現道拡幅 L=4.0km	川西町、三宅町 、広陵町							590	-	
H29年度より事業実施。H30年度より重点計画へ変更。																			
A11-006	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	改築	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(高田工区)	現道拡幅 L=1.0km	大和高田市							23	-	
H29年度より事業実施。H30年度より重点計画へ変更。																			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
奈良県県土マネジメント部で事後評価を実施	令和4年6月（計画最終年度（R2）の繰越予算執行完了（R3）の翌年度）
	公表の方法
	奈良県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>一般県道 大和青垣吉野川自転車道線（長安寺工区）等については、京奈和自転車道のルート分断箇所において河川管理用通路を自転車歩行者専用道として整備し、ルート上の案内誘導サイン路面標示を整備したことで、交通の安全が確保され、自転車周遊ルートの魅力向上にも寄与したと考えられる。</p> <p>○京奈和自転車道ルート上の自転車交通量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査箇所：大和郡山市長安寺町（長安寺工区） ・調査結果：【R1.11】52台/日、【R2.11】185台/日（【R2.8】整備完了）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>令和3年度以降に整備予定である未完成の事業については、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、奈良県北西部の観光拠点へのアクセス道路として整備を進める。</p> <p>未完成の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A11-005 （一）大和青垣吉野川自転車道線（中和工区） <p>既に整備した箇所については、引き続き自転車利用者の声を聞きながら、社会資本整備総合交付金等を活用し、P D C Aサイクルで自転車の走行環境を充実させ、観光振興や地域の活性化に取り組んでいく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	京都府山城地域、奈良県北西部、和歌山県紀北地域における観光入込客数	
	最終目標値	4371万人
最終実績値	2845万人	
2	奈良県北西部における観光入込客数	
	最終目標値	1951万人
最終実績値	1066万人	
3	重点計画の拠点施設に関する市町村（奈良市、斑鳩町、明日香村）における観光入込客数	
	最終目標値	1771万人
最終実績値	789万人	